

熊本・上益城地域医療構想調整会議（R4.11月書面協議）における御意見に対する回答

協議事項：産科・婦人科うしじまクリニックの役割の変更について
協議期間：令和4年(2022年)11月11日～11月24日

1 永野委員からの御意見

○妊娠初期から32週までの妊婦検診を行い、分娩については他の医療機関への紹介と協議書に記載されている。妊婦が安心して安全に出産できるよう、妊娠経過の情報提供等を含めさらなる連携の強化が必要と考える。

2 御意見に対する回答について

医療機関からの回答

○くまもとメディカルネットワーク（KMN）による積極的な情報連携
今年度の母体保護法指定医師研修会で「KMNを活用した母子の情報共有について」という講演（熊本大学病院 中村太志 先生）があった。これは、「くまもとメディカルネットワーク」の活用を促進することによって、積極的な地域医療連携強化と周産期医療提携体制強化に有用性があるという内容であった。
当医院は、この県医師会データセンターによる「くまもとメディカルネットワーク」を積極的に活用して、妊婦さんの患者基礎情報、検査情報、妊娠合併症の情報等を分娩予定施設と共有し、連携を強化することを考えている。また、この活用により、32週以前の妊娠合併症が推察された場合、早期の連携病院への紹介が今までよりも円滑に進むことが期待される。